

研究主題：主体的、対話的で深い学びの実現を目指して（2年次）

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2022. 10. 27
No.24 文責 荒木秀

第3回授業研究会迫る

第3回授業研が、明日に迫りました。今回は、土田先生（あおば：国語）と、鹿間先生（6年：体育）の授業になります。よろしくお願いいたします。久々の授業研究会なので、もう一度今年度の学校研究の方向性を確認させてください。

（TANKYU 1号より）

【研究主題】

主体的、対話的で深い学びの実現を目指して（2年次）

【目指す児童の姿】

「主体的な学び」…課題を自分事としてとらえ、見通しをもって意欲的に解決に向かおうとする。

「対話的な学び」…友だちや先生、教材、そして自分自身と対話を重ね、新たな見方や考え方に気付いたり、自分の考えに自信をもったりする。

上記のような学びをする児童を育てるために、土田先生、鹿間先生ともに工夫をしてくださっています。

土田先生は、個別の指導になります。児童の特性に合わせて、ワークシートを活用したり、45分の中に様々な活動を入れたりしてくださっています。私も経験がありますが、「1対1の関係」って、苦しいときもあるんですよね。そんな中で、「国語」の教科学習に取り組んでくださる土田先生に感謝です。

鹿間先生は、体育の授業を提案してくださいます。種目は「ソフトバレーボール」です。サッカーやバスケットに比べると、もしかしたら児童にとって馴染みの薄いスポーツかもしれません。基本の動きを確認しつつ、ゲームも行いながら、自分たちの課題を見出していきます。体育の授業を見せてくださる鹿間先生にも感謝です。

「主体的、対話的な学び」をする児童の姿をたくさん見つけていきましょう。